

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.151

Q. 分散投資のメリットは？

A. 複数の資産を併せ持つことでポートフォリオ全体のリスクを抑制する効果が期待されます。

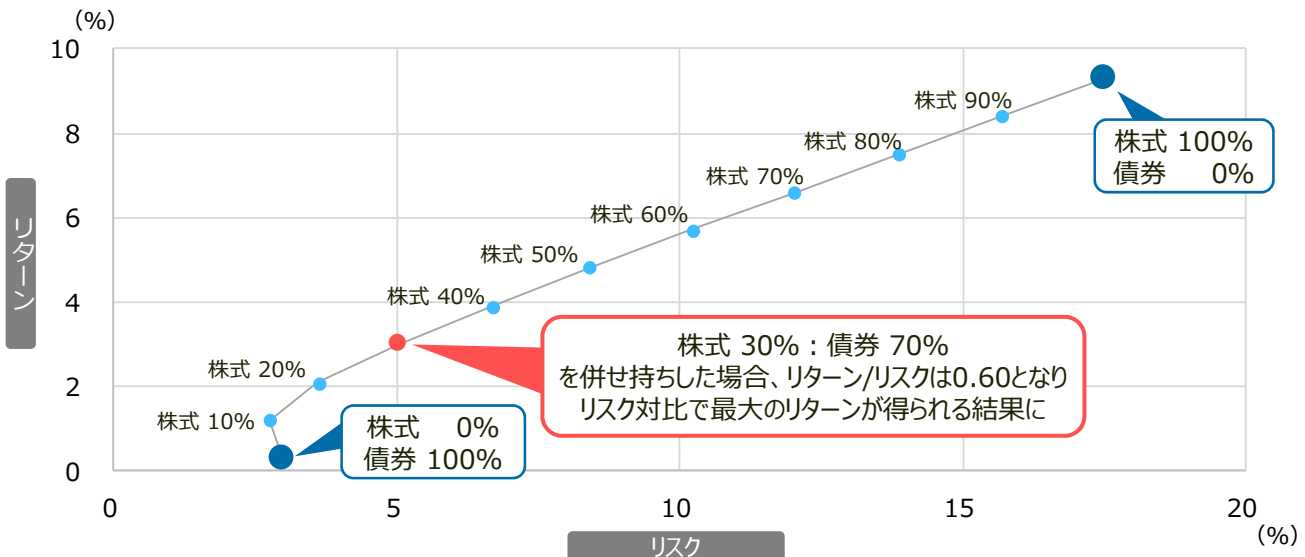
「卵を1つのカゴに盛るな」という投資の格言の通り、複数の資産を併せ持つことでポートフォリオ全体のリスクを抑制する効果が期待されます。ただし、併せ持つ資産は逆相関となっているものを最適な比率で組み合わせることが重要です。例えば相関係数が-0.3（負の相関）の株式と債券を併せ持つ場合、それぞれの保有比率によってリターン、リスク（標準偏差）の数値が変化します。

下グラフでは、株式を30%、債券を70%保有していた場合にリターン/リスク値が最も高くなることから、リスク対比で最大のリターンを得られる（効率よく収益が得られる）ことが期待されます。

このように、過去のデータや推計データを用いることで、より最適な保有比率を算出することができます。

逆相関の資産を最適な比率で併せ持つことで効率的な投資を目指す

(例) 株式はリターン9.3%・リスク17.5%、債券はリターン0.3%・リスク3.0%、2資産の相関係数を-0.3とした場合



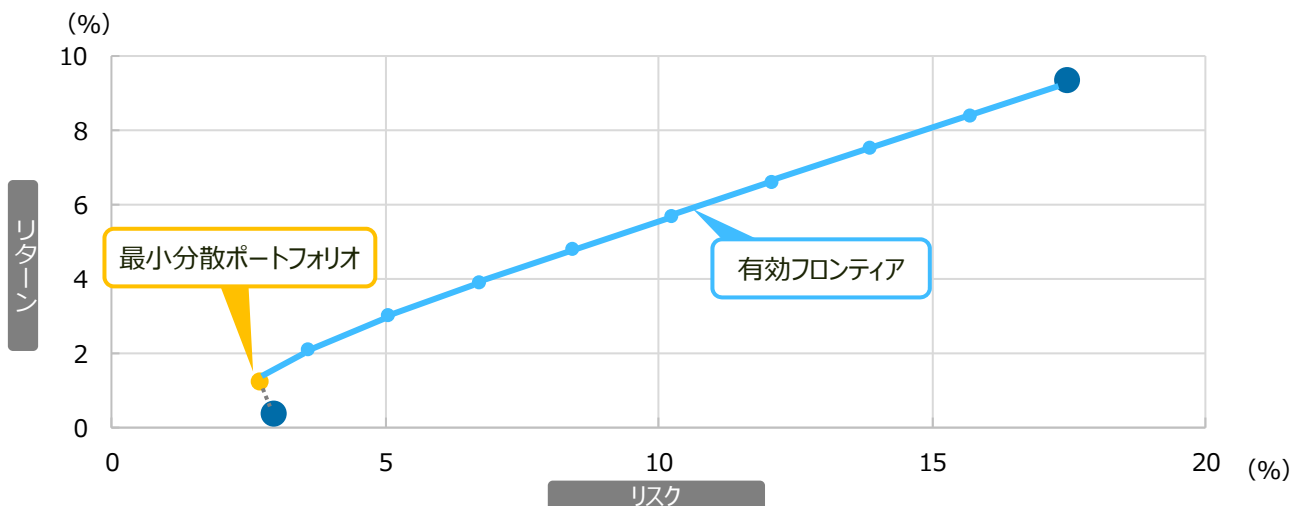
株式の組入比率 (%)	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
債券の組入比率 (%)	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	0
リターン (%)	0.3	1.2	2.1	3.0	3.9	4.8	5.7	6.6	7.5	8.4	9.3
リスク (%)	3.0	2.7	3.6	5.0	6.7	8.4	10.2	12.0	13.8	15.7	17.5
リターン/リスク	0.10	0.44	0.58	0.60	0.58	0.57	0.56	0.55	0.54	0.54	0.53

※上記はイメージ図であり、将来の運用状況・成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

有効（効率的）フロンティアとは？

ポートフォリオの資産配分のうち、最も有利と考えられる選択肢の集合のことを「有効（効率的）フロンティア」といいます。同じリターンではリスクが最小に、同じリスクではリターンが最大になるような組み合わせを結んだ線上で表現されます。

前ページのグラフ上では、最もリスクが低い最小分散ポートフォリオより上側の曲線部分を指します。



※上記はイメージ図であり、将来の運用状況・成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。